

2021年6月9日

業界初！時期・エリアによる熱中症発生傾向を考慮した、新しい熱中症危険度を開発 1km メッシュの熱中症危険度情報をアプリ「ウェザーニュース」で提供開始 ～暑さ指数(WBGT)と熱中症患者搬送者数との関係を分析、時期やエリアに適したランク表示へ～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開 千仁)は、熱中症の予防や対策に役立てていただくため、「ウェザーニュース」アプリ(iOS 版、Android 版)の熱中症情報をリニューアルし、提供を開始しました。新しい「熱中症情報」では、1km メッシュで WBGT を算出し、ユーザーの現在地の熱中症危険度を、ピンポイントで予報します。また従来、一年中全国一律だった熱中症危険度のランク分けを、WBGT と熱中症患者搬送者数との分析結果から独自に再設定しました。これにより、時期やエリアに適した熱中症危険度の予報が可能となっています。

「熱中症情報」では、48時間先まで1時間ごとの熱中症予報と、週間熱中症予報を確認することができ、水分補給や塩分補給、適切な冷房の使用などの熱中症対策や、帽子や日傘、冷却スプレーなど、事前の熱中症対策グッズの準備などに便利です。特にマスク着用時は喉の渇きを感じにくく、定期的な水分補給など意識的な熱中症対策が重要です。本予報を、今夏の熱中症予防にお役立てください。

新「熱中症情報」のご利用はこちら

「ウェザーニュース」アプリをダウンロード
<https://weathernews.jp/s/download/weathernewstouch.html>
 「ウェザーニュース」ウェブサイト
<https://weathernews.jp/s/heatstroke/>

◆ 「熱中症情報」をリニューアル

近年、“災害級の暑さ”など、極端な暑さによって熱中症患者搬送者数が著しい増加傾向にあり、熱中症に対する予防や対策の強化が今まで以上に求められています。特に今年の夏(7月～9月)の気温は、広範囲で平年並か平年よりやや高く、全国的に暑い夏になる見通しです。さらに7月上旬から梅雨明けする地域が多く、梅雨明けが遅かった昨年や平年よりも暑い期間が長くなり、熱中症対策が必要な期間も長くなりそうです。

ウェザーニュースでは、今夏の熱中症の予防や対策に役立てていただくため、「ウェザーニュース」アプリの「熱中症情報」をリニューアルしました。新しい「熱中症情報」では、3つの点が新しくなっています。



1) 時期・エリアによる熱中症発生傾向を考慮した新しい熱中症危険度を採用

まだ暑さに慣れていない5～6月と真夏とでは、同じ気温でも熱中症のなりやすさが異なります。また、住んでいるエリアによっても暑さへの耐性が異なります。これに対し、従来の熱中症危険度は、一年中全国一律の基準で WBGT の値をランク分けしており、時期やエリアによる熱中症の発生傾向の違いは考慮されていませんでした。

今回、過去の熱中症患者搬送者数と WBGT との関係を分析し、分析結果から熱中症指数のランク分けを独自に再設定しました。時期やエリアに適した熱中症危険度で、熱中症の予防や対策が可能になります。

2) 熱中症予報を 1km メッシュに高解像度化

ウェザーニュースの高解像度な気象データを用いて、WBGT を 1km メッシュで算出し、算出した WBGT を基に、熱中症危険度を表示します。解像度を細かくすることで、地形などその場所の条件をより正確に加味した予報が可能になります。ユーザーが今いる場所の熱中症危険度を、ピンポイントで予報します。

3) 週間熱中症予報を追加

1 週間先までの熱中症危険度が確認できる週間熱中症予報を追加しました。レジャーやスポーツなどの計画、熱中症対策グッズの事前準備などに役立ちます。

「熱中症情報」は、アプリ「ウェザーニュース」のメニュー、「自然・季節・健康」カテゴリからご利用いただけます。なお、自宅や勤務先などよく見る場所を「マイ天気登録」しておくと、アプリを起動してすぐに予報が確認できて便利です。本予報を、今夏の熱中症予防にお役立てください。

<スマホアプリ「ウェザーニュース」概要>

名称	ウェザーニュース
利用料金	無料 (App 内課金あり)
対応 OS	iOS/Android
ストア URL	【App Store】 https://apps.apple.com/jp/app/ウェザーニュース/id302955766 【Google Play】 https://play.google.com/store/apps/details?id=wni.WeathernewsTouch.jp&hl=ja&gl=US